

平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年1月31日

上場会社名 エスビー食品株式会社

上場取引所 東

コード番号 2805 URL <http://www.sbfoods.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山崎 雅也

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理サポートグループ担当 兼 財務管理室長 (氏名) 寺尾 隆一郎 TEL 03-3558-5531

四半期報告書提出予定日 平成26年2月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第3四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	95,521	△1.8	4,478	17.1	4,494	24.2	2,775	28.3
25年3月期第3四半期	97,305	△1.4	3,823	△18.9	3,619	△16.8	2,162	25.6

(注) 包括利益 26年3月期第3四半期 3,178百万円 (27.8%) 25年3月期第3四半期 2,487百万円 (32.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第3四半期	399.62	—
25年3月期第3四半期	311.26	—

平成25年10月1日を効力発生日として普通株式5株につき1株の割合で株式併合を実施いたしました。「1株当たり四半期純利益」は、前期第3四半期、当期第3四半期共に前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第3四半期	101,783	33,196	32.6
25年3月期	98,578	30,214	30.7

(参考) 自己資本 26年3月期第3四半期 33,196百万円 25年3月期 30,214百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	7.00	—	7.00	14.00
26年3月期	—	7.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	35.00	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

平成26年3月31日を基準日とする期末配当金の予想は、平成25年10月1日を効力発生日として実施した普通株式5株につき1株の割合とする株式併合を踏まえております。

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	125,000	△0.3	4,000	11.0	3,700	11.8	2,100	21.6	302.40

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

「1株当たり当期純利益」は、平成25年10月1日を効力発生日として普通株式5株につき1株の割合で株式併合を実施したため、当該株式併合を考慮し算定しております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 有
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注)第1四半期よりたな卸資産の評価方法の変更を行っており、「会計方針の変更」に該当しております。詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)」に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示をご参照ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

26年3月期3Q	6,977,117 株	25年3月期	6,977,117 株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

26年3月期3Q	33,320 株	25年3月期	32,197 株
----------	----------	--------	----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年3月期3Q	6,944,510 株	25年3月期3Q	6,946,985 株
----------	-------------	----------	-------------

平成25年10月1日を効力発生日として普通株式5株につき1株の割合で株式併合を実施いたしました。期末発行済株式数、期末自己株式数及び期中平均株式数は、前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して算定しております。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続が実施中であります。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、発表日現在において入手可能な情報及び合理的と判断される前提に基づくものであり、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は今後様々な要因によって異なる場合があります。上記業績予想に関する事項につきましては、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

2. 業績予想における「1株当たり当期純利益」は、平成25年10月1日を効力発生日として普通株式5株につき1株の割合で株式併合を実施したため、当該株式併合を考慮し算定しております。

○添付資料の目次

	頁
1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
4. 補足情報	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、経済対策や金融緩和政策による株価回復や円安進行の動きとともに、緩やかに回復しつつあるものの、消費税増税を控え、また、新興国経済の成長鈍化など、依然として先行き不透明な状況で推移しました。

食品業界におきましては、お客様の節約志向が依然として強いことから、個人消費持ち直しの影響は限定的であり、また、原材料価格に高止まりの傾向がみられるなど、厳しい環境が続きましました。

このような状況のなかで、当社及び連結子会社（以下「当社グループ」といいます。）は、企業理念「真の顧客満足の追求」のもと、スパイスとハーブを核とした事業活動を推進してまいりました。お客様の視点に立った製品開発や営業活動を継続いたしますとともに、経費削減活動を推進し利益の確保に努めてまいりました。また、スパイスやハーブの魅力をさらに多くのお客様にお伝えするため、食の総合的なプロモーションを展開してまいりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は前年同期比17億84百万円減の955億21百万円（前年同期比1.8%減）となりました。

セグメント別の業績は、以下の通りであります。

なお、各セグメントの売上高は、セグメント間内部売上高消去後の数値を記載しております。

(1) 食料品事業

売上高は、前年同期比19億61百万円減の876億78百万円（同2.2%減）となりました。

(2) その他

売上高は、前年同期比1億77百万円増の78億42百万円（同2.3%増）となりました。

セグメント及び製品区分別の連結売上高の詳細につきましては、9ページ「4. 補足情報」をご参照ください。

利益面におきましては、売上高は減少したものの、原価低減に努めたことや経費削減により、営業利益は前年同期比6億55百万円増の44億78百万円（同17.1%増）、経常利益は前年同期比8億74百万円増の44億94百万円（同24.2%増）、四半期純利益は前年同期比6億12百万円増の27億75百万円（同28.3%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の資産は、前連結会計年度末と比較して32億5百万円増加し、1,017億83百万円となりました。これは主に、売上債権の増加40億21百万円などがあったことによるものであります。

負債は、前連結会計年度末と比較して2億22百万円増加し、685億86百万円となりました。

純資産は、前連結会計年度末と比較して29億82百万円増加し、331億96百万円となりました。これは主に、利益剰余金の増加25億89百万円などがあったことによるものであります。この結果、自己資本比率は32.6%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第3四半期連結累計期間の業績が概ね計画通りに推移いたしましたことから、平成25年11月1日に発表いたしました平成26年3月期通期の連結業績予想につきまして、変更を行っておりません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

(たな卸資産の評価方法の変更)

たな卸資産の評価方法は、従来、主として移動平均法を採用しておりましたが、第1四半期連結会計期間より総平均法に変更しております。この評価方法の変更は、原価管理の向上を目的として、標準原価計算制度を導入したことを契機に、これに適するたな卸資産の評価方法を採用したことによるものであります。

当該会計方針の変更は、過去の連結会計年度に関するたな卸資産の評価の算定に必要な標準原価の情報が入手不可能であり、この会計方針を遡及適用した場合の累積的影響額を、前連結会計年度の期首時点において算定することが実務上不可能であるため、総平均法に基づく第1四半期連結会計期間の期首のたな卸資産の帳簿価額と、前連結会計年度の期末におけるたな卸資産の帳簿価額の差額を元に算定した累積的影響額を、第1四半期連結会計期間の期首残高に反映しております。

これによる当第3四半期連結累計期間の損益に与える影響額は軽微であります。

また、第1四半期連結会計期間の期首の純資産の帳簿価額に反映された会計方針の変更の累積的影響額により、税効果を考慮した利益剰余金の遡及適用後の期首残高は2億97百万円増加しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	17,479	16,935
受取手形及び売掛金	24,592	28,614
商品及び製品	4,427	4,537
仕掛品	984	1,237
原材料及び貯蔵品	4,749	4,625
その他	7,949	6,416
貸倒引当金	△620	△625
流動資産合計	59,564	61,741
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	10,025	9,675
機械装置及び運搬具(純額)	4,480	4,143
土地	10,066	10,055
その他(純額)	1,833	3,154
有形固定資産合計	26,405	27,028
無形固定資産		
のれん	19	17
その他	602	538
無形固定資産合計	622	555
投資その他の資産		
投資有価証券	5,737	6,302
その他	6,988	6,893
貸倒引当金	△739	△738
投資その他の資産合計	11,986	12,457
固定資産合計	39,014	40,042
資産合計	98,578	101,783

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	10,998	11,029
短期借入金	26,403	25,311
未払法人税等	1,093	1,300
賞与引当金	1,091	549
資産除去債務	—	54
その他	10,215	10,921
流動負債合計	49,801	49,168
固定負債		
長期借入金	8,774	10,588
退職給付引当金	6,179	6,271
債務保証損失引当金	396	402
資産除去債務	120	121
その他	3,092	2,034
固定負債合計	18,562	19,418
負債合計	68,364	68,586
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,744	1,744
資本剰余金	5,344	5,337
利益剰余金	25,850	28,439
自己株式	△123	△122
株主資本合計	32,815	35,398
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,257	1,631
土地再評価差額金	△3,835	△3,839
為替換算調整勘定	△22	6
その他の包括利益累計額合計	△2,600	△2,202
純資産合計	30,214	33,196
負債純資産合計	98,578	101,783

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
売上高	97,305	95,521
売上原価	55,405	54,518
売上総利益	41,900	41,003
販売費及び一般管理費		
販売促進費	23,286	22,090
その他	14,790	14,434
販売費及び一般管理費合計	38,077	36,524
営業利益	3,823	4,478
営業外収益		
受取利息	83	76
受取配当金	117	123
不動産賃貸料	28	24
貸倒引当金戻入額	—	127
為替差益	19	51
その他	131	103
営業外収益合計	379	506
営業外費用		
支払利息	493	462
貸倒引当金繰入額	69	—
その他	20	28
営業外費用合計	584	491
経常利益	3,619	4,494
特別利益		
固定資産売却益	167	—
投資有価証券売却益	0	92
貸倒引当金戻入額	4	—
債務保証損失引当金戻入額	4	—
その他	14	26
特別利益合計	190	118
特別損失		
固定資産売却損	0	25
固定資産除却損	22	38
投資有価証券評価損	353	—
ゴルフ会員権評価損	4	—
債務保証損失引当金繰入額	—	6
その他	61	29
特別損失合計	441	99
税金等調整前四半期純利益	3,368	4,513
法人税、住民税及び事業税	1,356	1,954
法人税等調整額	△150	△215
法人税等合計	1,206	1,738
少数株主損益調整前四半期純利益	2,162	2,775
四半期純利益	2,162	2,775

(四半期連結包括利益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	2,162	2,775
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	314	374
為替換算調整勘定	10	28
持分法適用会社に対する持分相当額	△0	0
その他の包括利益合計	324	402
四半期包括利益	2,487	3,178
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,487	3,178
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前題に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

セグメント情報

I 前第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント	その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	食料品事業				
売上高					
外部顧客への売上高	89,640	7,665	97,305	—	97,305
セグメント間の内部 売上高又は振替高	0	5	5	△5	—
計	89,640	7,670	97,311	△5	97,305
セグメント利益	3,554	236	3,791	32	3,823

(注) 1. 「その他」は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、調理済食品、外食事業を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額32百万円は、セグメント間取引消去32百万円であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント	その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	食料品事業				
売上高					
外部顧客への売上高	87,678	7,842	95,521	—	95,521
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	87,678	7,842	95,521	—	95,521
セグメント利益	4,276	169	4,445	32	4,478

(注) 1. 「その他」は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、調理済食品、外食事業を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額32百万円は、セグメント間取引消去32百万円であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

4. 補足情報

セグメント及び製品区分別連結売上高

当第3四半期連結累計期間におけるセグメント及び製品区分別の連結売上高は以下の通りであります。

(単位：百万円)

セグメント及び製品区分	前第3四半期 (累計)	当第3四半期 (累計)	増減額	増減の主な要因
食料品事業	89,640	87,678	△1,961	
スパイス&ハーブ	16,039	16,474	435	シーズニングスパイス、 フレッシュハーブ (増加)
即席	24,852	22,481	△2,371	即席カレー、即席シチュー (減少)
香辛調味料	22,544	21,974	△570	ラー油関連製品、チューブ製品 (減少)
インスタント食品その他	26,203	26,748	544	レトルトカレー、パスタソース (増加)
その他	7,665	7,842	177	調理済食品 (増加)
計	97,305	95,521	△1,784	